

今年度も残り少なくなりました。この一年を振り返ってみると、授業や部活動、行事等を通して、皆さんは心身共に成長しました。なぜなら、自分自身や周りの人、集団や社会と向き合うことで、いろいろと考えたり悩んだりしながら生活してきたからです。これからは、学校や家庭でたくさんの経験をしながら更に成長して行ってください。4月からは新しい生活が始まります。(楽しみですね!)特に、卒業される3年生はしっかりと自分が選んだ道を歩んで行ってください。

今回は、卒業前の3年生特集です。3年間の「道徳」の授業を「自分自身」「人」「集団や社会」「生命や自然等」との関わりについて振り返りました。

----- 「3年間の道徳を振り返って」〈感想〉 -----

☆「自分自身」については、考え方が広くなったと思います。教材の中では、登場人物が打ちのめされてしまったり、マイナスな気持ちや行動になってしまったりしてしまうことも多くありました。ただ、人間である以上そういったものがあるのは仕方がないと思いましたが、それと同時に、自分が後悔しないような判断ができるようになったと思います。「人との関わり」については、相手も一人の人間だからと考え、気持ちをくみ取ることができるようになったと思います。「集団や社会との関わり」については、「ベビーカー論争」が印象に残っています。肯定的な意見も否定的な意見もある中では、自分の意見を持つことが大切だと思います。「生命・自然など」については、それに対して崇高なものだとより感じるようになり、他教科ともつながる環境問題に対してより深く考えるようになりました。

☆自分自身に関することで感じ取ったことは、続けることの大切さだ。特に「人間であることの美しさ」という教材を読んで、強い目的や意志を持ち、頑張り続ける人の美しさというものを知れた。自分は意志が弱く、続けることが苦手だったが、この人の姿を見習いたいと思った。人との関わりに関することで感じ取ったことは、自分から動くことの大切さだ。「目の見えない白鳥さんとアートを見に行く」を読んで自分から人間関係を作っていく、そこから新たな観点を見つかることができたら理想的だなと思った。集団や社会との関わりにおいて感じたことは、インターネットの怖さだ。集団で一人のことを傷つけたり、意見の疎通がうまくできずにけんかになったり、顔の見えないインターネットだからこそのトラブルが増えているので気をつけたいと思った。生命や自然との関わりでは、「十五分後の奇跡」で生きたい、産みたいという願いを強く感じた。そのことから、自分の命を大切にしようという気持ちをより持つようになった。

☆今までの道徳で、自分自身に関することでは、自分がどうすれば夢に近づけるのか、どうあるべきなのかについて考えることができた。人との関わりに関することでは、友達とどう関わったら良いのかなどを学び、思いやりを持てるようになっていった。集団や社会との関わりでは、自分は社会の一員としてどうするべきなのかを学べた。生命や自然等との関わりでは、地球の環境について、どう残していくべきかなどが分かった。このように、自分はいろいろなことを学ぶことができた。そして、一番意識

するようになったことは思いやり。印象に残っている教材は「ピヨ子」「路上に散った正義感」「ある元旦のこと」以外にもたくさんある。高校では、今までの道徳で成長したり学んだりしたことを活かせるように意識していきたい。

☆自分は機嫌が悪いときによく家族にあたってしまうことがあり、怒って部屋に閉じこもることもよくありましたが、「一冊のノート」を読んで、家族は今まで自分のことを支えてきてくれたので、これからは自分が家族を支えられるようになっていきたいと思いました。家族がいることは当たり前のように当たり前ではないことなので、そのことを忘れずに感謝の気持ちも伝えていきたいと思いました。また、「卒業文集最後の二行」で、「子さんが友達からバカにされたりいじめを受けていたりして、とてもよくないことだと思いました。何があってもいじめはいけないし、相手の気持ちを考えて自分がされて嫌なことは人にしないようにすることや、誰に対しても冷たくではなく優しくしていくことこたが大切だと思いました。相手を認め、環境が違って、友達として支え合って助け合うべきだと思いました。

☆自分自身に関することでは、ネットの使い方や考え方について改めることができた。自分は今もともと道徳のような心情を読み取るのが苦手だったけど、授業をして考えることができるようになった。また、様々な視点から考えられるようになった。人との関わりでは、自分の意見を伝え、相手の意見も知ることで、さらに問いに対する理解が深められた。口には出せないけど、賛成・反対の意見を持つことができた。集団や社会のかかわりでは、集団生活をしていく中で友達にどのように接するかなどを考えられた。社会に出たときのことも考えられた。生命や自然との関わりでは、兵庫の話や徳島県の話から自然を守っていくことは大切だと思ったし、自然がないと生きていけないと思いました。

☆「自分自身」では、人の嫌がることはせず、思いやりを持った行動が増え、挨拶は気持ちよくすることによって、他の人も気分がいいことが分かりました。「人との関わり」では、相手の気持ちを理解し、相手の意見を尊重する大切さが分かりました。「集団や社会との関わり」では、周りを見て行動し、仲間の輪に入って話をする中で楽しさやうれしさなどがうまれることが分かりました。「生命や自然等との関わり」では、自分の町の自然を大切にするために、食べ物などをむだにしないことで、自分にとってできることをできるだけ増やしていきたいと思いました。自分は色々な面で成長することができて、それは家族、先生、クラスの友達など支えてくれる人がいるからだだと思います。これからは一つ一つの経験が貴重なことだと思って生きていきたいです。

☆3年間の道徳で私は友達や他人との接し方や関わり方についてより知ることができました。「ピヨ子」は友達の写真をクラス中に広め友情関係が悪化する物語で、この教材のおかげで友達の写真を入手してもばらまくことはなくなりました。面白いからという理由で、何かを行うことはいじめにもつながってくるのではないかと思います。また、物語の人物に自分をあてはめてみることで、その時にどんな気持ちなのか、より自分事として捉えることができました。「お前のカワウソがさびしがってるぞ」という教材で、あきらめない心の大切さや挑戦することの大切さに気づくことができました。自分はびびりですぐあきらめてしまう性格だったけど、自分の悪いところに気づくこともできました。

----- 「3年間の学習で印象に残っている教材」と自分の変容 -----

☆「美しい母の顔」「一冊のノート」「天使の舞い降りた朝」などでは、自分の家族を思い浮かべて、人は誰でも病気にかかったり亡くなったりすることを改めて知ったので、自分が今までしていた手伝い以外にも頼まれたことをして、少しでも役立つ、家族を支えられるように、少しずつ行動を変えることができた。人との関わり、集団や社会との関わりでは、ネット問題やいじめ・差別問題について考え、相手と自分のことも考えて、相手の意見を尊重し、そこから自分の意見を言うことを大切にすることができていたと思う。生命・自然では、「運命の木」「樹齢7千年の杉」などの教材で、やっぱり命は大切だなと感じ、「命”を大切にしたいと思った。

☆自分自身に関することは「ネット将棋」が印象に残っています。卓球の選手として、勝負に対しての新しい価値観を学んだと思います。負けても相手に頑張ってもらいたいと考えることができるようになりました。人、社会や集団との関わりについては「海と空一握野の人々」が印象に残っています。人が生きていくには、独立だけでなく、共生・認め合うことが必要だと学びました。また、助けられたから助けるという心に感動しました。学習後、現地に赴いて町を見てみると、日本とトルコの両国がおたがいを認め、恩人だと感じるきっかけになった場所であることを実感しました。事故現場は危険が伴うような場所、救助しようという心はとてすばらしく、世界の各国が見習うべきだと思いました。「助け合い、人を思う心」は、世界のさまざまな問題を解決し、救うと思います。

☆「夢へのステップ」という大谷翔平さんの教材で、大谷さんはごみ拾いについて、ごみを拾っているのではなく運を拾っているという考え方をし、日頃から自主的にごみ拾いをしていて、自分も考え方を改めて少しのめんどろなことも「自分自身」につながるはずだからやってみようと思うようになりました。「人、集団や社会との関わり」の学習では、自分の人も周りの人も大切にしていこうと感じるようになりました。特に今後は通学で公共交通機関を使うことも多くなるので、しっかり意識していきたいです。「生命や自然等との関わり」では、地球温暖化が進んでいる社会に生きている人として、みんなで協力して、現実を知ることから始めるべきだと思いました。何事も事実を知ることが大切だと思いました。

☆ワークシートで今までの授業を振り返ってみると、どれを良いと思ってどれを悪いと思うかなど、考え方があまり変わっていないことが分かって少しおもしろいと思いました。しかし、道徳の授業を受けるなかで、自分には今までなかった考え方や視点を知ること、また違った見方ができることを知ったので、これからは自分の知らないことを知ってみたいと思いました。「運命の木―姫路城の大柱」などでは私なら絶対あきらめてしまうだろうというところでもあきらめず続けていた。その理由は分かるけれど、それでも自分はあきらめてしまうなと感じる教材がいくつもあったので、これからは自分以外の人や社会などについて本当に理解できるようになればいいなと思いました。



教材名	自分の変容
ネット将棋	・インターネットの使い方やモラルなどを見直すようになった。 ・勝負にはまっすぐ向き合うことや負けることも大切と思うようになった。
命尊し～本名を名乗る意味～	・ハンセン病は社会の授業で勉強して知っていたが、ハンセン病になってひどい扱いを受けた人の体験などを詳しく知れた。
美しい母の顔	・いつもより少し親の手伝いをするようになった。
足袋の季節	・関わってくれている人には素直に正直に向き合っていこうと改めて思った。 ・後悔しないことが大切、正直に生きるべきと思った。
ありがトオヨ	・「ありがとう」という言葉で相手に感謝の気持ちを伝えることは、幸せな気持ちになるので、今はしっかりと伝えるようにしている。
いつでも・どこでも・誰とでも	・相手が嫌な気持ちにならない行動をとることが大切だと気付いた。友達や親といるときはスマホをやめて話すようにしている。
ピヨ子	・身近な話で、ネットの恐ろしさについて改めて分かり、ネットを考えて使うようになった。 ・友達同士でもやり取りは気をつけないといけないと考えるようになった。 ・友達や相手の気持ちを考えてから発言することを心がけるようになった。
ある元旦のこと	・一番身近で小さなことから、人の温かみを感じた機会になった。 ・感謝の気持ちをもつことを、より意識するようになった。
リアルとネットの不思議	・メッセージを送るたびに、相手が嫌にならないか送る前にメッセージを確認するようになった。
半分おとな半分こども	・思いやりを持つ行動が増えた。
ネパールのビール	・子どもの純粋さに甘えてしまった後悔と罪悪感が印象的だった。

✿ 教材の中の世界に「自分」を置いて感じたり考えたり。そして、「周りの人」の思いや考えを聞いて共感したり疑問を持ったり。授業で共有し、対話することでそれまでの自分にはなかった何かに気づき、変わるきっかけになるかもしれません。
1. 2年生にとってこれからも道徳の時間が有意義な時間になりますように！